

共学化勧告についての意見集まとめ

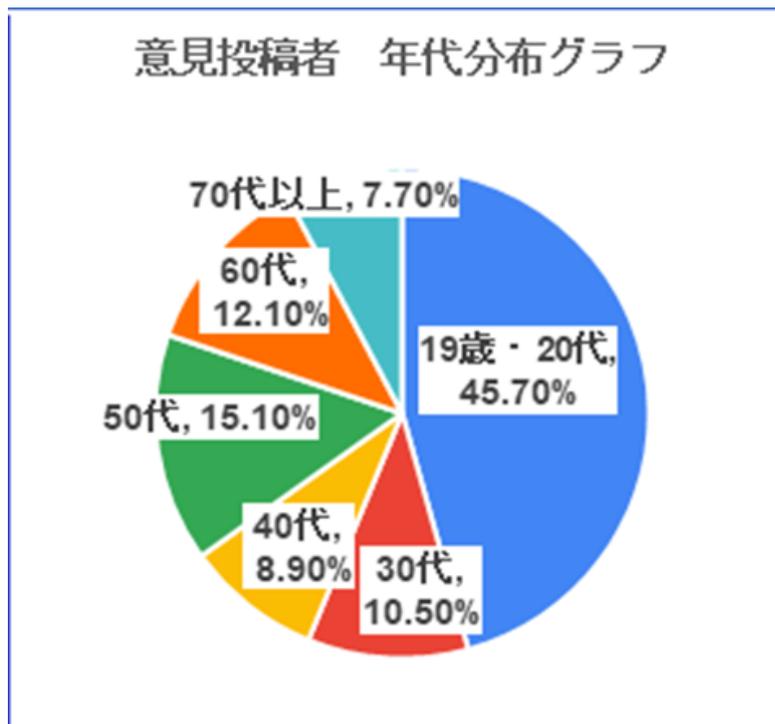
麗風会（浦和一女同窓会組織）

2023年8月30日、埼玉県男女共同参画苦情処理委員より埼玉県教育委員会教育長宛てに県立高校の共学化を求める勧告が行われた。共学化勧告について、別学高校PTA・同窓会等に対する県教委による意見聴取（対象校ごとのヒアリング）が2024年1月以降行われた。

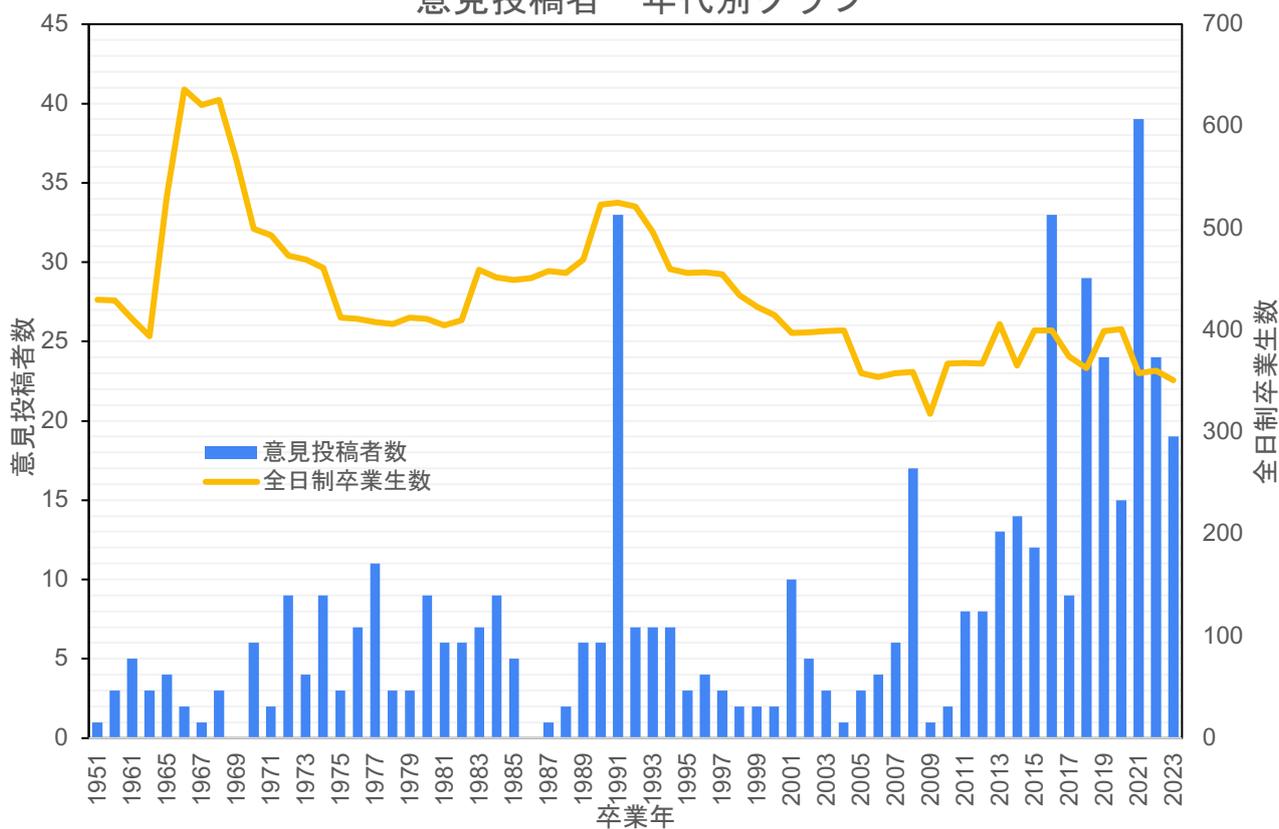
意見聴取の場に浦和一女卒業生の声を届けるため、麗風会では2023年12月27日からホームページ上で卒業生の意見を募り、2024年5月まで継続した。寄せられた意見は全て県教委に提出した。

一女での意見聴取は、第1回が2024年1月30日、第2回が同年3月2日に実施された。以下は第1回に提出した意見集のまとめである。

	今回	2002年 (前回勧告時)
意見数	500	434
うち共学化に賛成	15 (3.0%)	15 (3.5%)
共学化に反対	483 (96.6%)	419 (96.5%)
その他(賛成でも反対でもない)	2 (0.4%)	—



意見投稿者 年代別グラフ



意見の概要

賛成意見 共学化は時代の流れ / 性別で学ぶ場を分けることはおかしい / 多様性を育む上で賛成 / 時代的に女子校の意義はなくなった / 別学は女性の権利を侵害している / 男子校並みの受験指導を受けられなかった / 分けて教育することが格差を産む

反対意見

① 勧告書に対する疑問・批判

(1) 勧告書の内容に関するもの (2) 勧告発出の制度に関するもの

② 女子校(別学校)のメリット

③ 一女の良さ

※ 女子校(別学校)の「シェルター機能」

④ 別学は否定されるものではなく、共学・別学を選択できるのがよい

⑤ 埼玉県には共学・別学の特色ある高校という多様な選択肢があり、それが魅力

主な意見

① 勧告書に対する疑問や批判

(1) 勧告書の内容に関するもの

<発端の苦情への疑問> 発端の苦情への対応が共学化であることに違和感 / 共学化したら男子校に入れなくなり当該女子の希望は叶わない / 苦情の根本原因を掘り下げるべき / 論点をずらして苦情を共学化に利用しているのではないか / 一部の苦情で全て共学化せよというのは論点飛躍しすぎ

<法的妥当性について> 共学を強制する法的根拠がない / 女子差別撤廃条約第 10 条 (C) の記載は、「その他の種類の教育も奨励する」と読める。別学による女子教育も本目的達成を助長するものであれば奨励に含まれると考えられる / 勧告は幸福追求権 (憲法第 13 条) を侵害する / 既に教育の機会や内容の平等は達成されている / 合理性に欠ける

<教育行政について> (管理職数・教職員数・目指す学校像・学科・他県の状況等)

教育行政の問題点は共学化とは別物 / 共学化では解決しないし、共学にしなくても解決できる / 女子校の女子教員はロールモデルになる / 他県の状況について共学化前後の実績等の効果が検討されていない / 共学化の流れは、地方は人口減少、私学は生き残りのため / 社会科学的な客観性のある調査と言いつても難しく妥当性に欠ける / 国立大学法人の別学校と矛盾する

<その他> 共学化で男女平等にならない / 共学化で男女共同参画の効果は出ない / 別学は男女共同参画をむしろ推進 / 「性差に囚われることなく個人の能力・個性を發揮できる」のは別学 / 「男女の役割についての定型化された概念」から自由なのは別学 / 別学は人格形成上の問題はない / 自らの考えを根拠としている / 別学への偏見 / 別学の実情を知らない / 「男女共学のみが正しい。別学は正しくない。共学だけが男女共同参画に資する」という画一的で妄信的な思考 / 検討プロセスの透明化を希望

(2) 勧告発出の制度に関するもの

1 件の苦情を以って体制変更の結論に至るのは短絡 / 3 人の委員の意見のみで発出される体制は見直しを / 少量の苦情をもとに少数の委員で専門家のヒアリングもなく発している / 3 人の委員で教育の専門家の精査も経ず県の体制を揺るがすような勧告ができる現行システムはこのままでいいのか / 少数の私見に振り回されるのは迷惑

② 女子校(別学校)のメリット

女子校はリーダーの育成に適する / 進路選択に自由がある / 理系に進みやすい / 勉学や課外活動に打ち込める / 異性に煩わされずに済む / マウントを取る男子がいなくて伸びやか / のびのび 自主性 自律性 積極性 逞しさ 自立心 向上心 多様性 / 男女の性差にとらわれることなく、個人の能力、個性を発揮できる / 成長できる / 別学こそ能力を発揮しやすい / 女性にフォーカスしたキャリア教育ができる / 女子校出身の方が自立している / 社会に出て臆せずものが言える / 異性に遠慮せず積極的 / 自立性高く社会で活躍する率が高い / 別学校卒業生の活躍は偏差値が高いからではない / 女性弁護士に女子校出身者が多い / 女子校は理系進学率が高い / 理工系で女子学生の多くは女子校出身であった / アメリカでは別学が見直されて復活している / アメリカの研究では別学の方が能力を伸ばせる / 韓国の研究では共学化による学力低下と問題行動が報告されている / トリニダード・トバゴでは別学で効果があった

※共学校のデメリット

「男女の役割についての定型化された概念」が持ち込まれ再生産されやすい / 中学では理数はがんばらなくてよいと言われた / 中学の方が女性らしさを求められた / 男は長で女は副 / 長になるのは今も男性 / 女性蔑視は共学出身者だった / 共学の大学で男女の役割があり驚いた

③ 一女の良さ

「男女の役割についての定型化された概念」の枠を越えた行動と思考がしっかり育まれるから社会を牽引する役割を担える / 力仕事でも強く逞しく男性に頼らず何でもやる / 全力投球できる環境 / 社会人になると生きる体験のできる学校 / 女子だからと言われたことはない / 女性はこうすべきという教育はされていない / 人間力を培うことができる / 協調性、リーダーシップ含めバランス感覚が育成される / 多様な個性の相互尊重 / いろいろな考え方の人を分け隔てなく認め合う校風 / 「個性的」であることを恐れない / 遠慮のない個性の基礎固めをするから OG の活躍がある / 女性差別される現実を目の当たりにしてもなんとか自分を失わずに生きていける力が身についた / アメリカで研究員をした時ほど一女での経験を有難く思ったことはない / 博士課程での研究も女子校での精神がもともなった / 社会で活躍する礎 / 職業観、男女観の根幹 / アニメ、アイドル、スポーツなど好きなものを好きといえる環境がある / 自由闊達な校風 / 息がしやすい / ありのままの自分を受け入れてくれる仲間がいる / 全て素直に等身大で自分らしく過ごせた / ヒエラルキー・僻み・妬み・嫉みがない / 一人でいたいときは一人でいられる / 文化祭で「一女らしさ」に一目ぼれした / 異性のいる窮屈さ気にせず過ごせる / 居心地がよい / いじめやくだらない仲間はずれがなく適度な距離感でたくさんの友だちができた / 「一女の友は一生の友」ここで出会ったような人にはなかなか出会えない / 自分に自信が持てるよう

になった / 自信と可能性、問題解決能力、創造性を与えてくれた / 理系を選びやすい / 職場で一女出身者に優れたリーダーが多い / 卒業生に優れたリーダーが多い / 一女にいたから今がんばれる
自分の人生にとって一女とは ⇒ 幸福の源泉 困難を支える力 生涯の友情 思い出すと元気が出る
自信と誇り 人生で一番素敵な時間 一番戻りたい時間 人生の宝物 困難な時に勇気づけられる かけがえがない 無敵の青春時代 精神的なよりどころ 最高に楽しい

※女子校(別学校)の「シェルター機能」

別学とくに女子校は学びにおけるシェルター / 異性との関りが苦痛な人、男子恐怖症の人もある / 異性がいる窮屈さがない / 「お世話係」から解放された / 性的に安全な場所 / トラブルがない / 心の安寧 / 女性蔑視がない / マイノリティを救う流れ / 男子校も同じだろう / 生活困窮者支援で東京で女子校に行くには私立しかなかった / 男子のいない安心な環境を / 精神的に安定する / みな強いわけじゃなくて繊細 / 安心して通える場所 / 男子に嫌気が差して女子校を希望した / 性的ないやがらせなど経験し女子校に逃げ込んだ

④ 別学は否定されるものではなく、共学・別学を選択できるのがよい

「男女の定型化された概念」の撤廃にふさわしいのは別学 / 差別ではない / 不利益を被っていない / 男女共同参画の妨げにならない / むしろ促進する / 平等の一助 / 今までであった選択肢を奪うな / 人生の一時期の選択肢としてあってよい / 公立に別学があれば経済的に安心 / 学力が伸びるといふ説もある / 別学の存在こそ多様性 / 中学生に豊富な選択肢を / 公費で運営される価値やニーズがある / 共学化は女性の学びの場の喪失 / 共学化は均一化を進める / ジェンダーバイアス解消に大きな役割を果たしている / 生徒が集まらず存続できなければなくしてよい

⑤ 埼玉県には共学・別学の特色ある高校という多様な選択肢があり、それが魅力

埼玉県の魅力である共学・別学両方の選択肢は誇ってよい / 埼玉の誇り / 素晴らしい / 別学がないと私学進学で経済的負担が増す / 共学校は十分あり、別学校は10%に満たない / 共学が良ければ大宮高校に行けばよい / 各自に合った学校が選べる / 校風は貴重 / 共学化に貴重な税金を使うな / 多様性と選択の自由なくすな / 共学に行く自由は十分ある / 別学は多様化の時代にふさわしい選択の自由を保障する埼玉の特色 / 別学校の特色こそ埼玉県の魅力ある高校づくり / 大野知事の公約「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するのは共学化ではない / 多様性のある現行はすぐれている 同偏差値帯に共学・別学がある / 同偏差値帯の同じような共学校が市内に4つも存在できない / 埼玉は豊かな環境 今のまま維持すれば新たな予算もいらぬ / 公立だからこそ選択の自由を / 長い学習指導経験から見ても現状がよい / 埼玉は独自の道を / 別学に進む権利を奪うな / 共学化のコスト(部活動・施設・設備)は税金の無駄 / 県立別学を奪うと教育格差が拡大する / 「魅力ある県立高校の方針」で埼玉県の特徴としてアピールポイントとすればよい / 伝統と実績に希少性が付加されればさらに全国的な価値が高まる / 埼玉県においては公立高校が別学校を含む多様な選択肢を確保していることが教育機会の均等に繋がっており十分公益性がある / 公立に独自性あってよい / そこにしかない魅力を潰えさせることがないように / 個に応じた環境を多種多様に用意してほしい / ”建設は死闘 破壊は一瞬”

以上